

2025年10月30日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社

サントリーとユニ・チャーム 鉄道コンテナを活用した長距離往復輸送の 取り組みを開始

— ト ラ ッ ク ド ラ イ バ ー 不 足 へ の 対 応 強 化 、 環 境 負 荷 の 低 減 を 目 指 す —

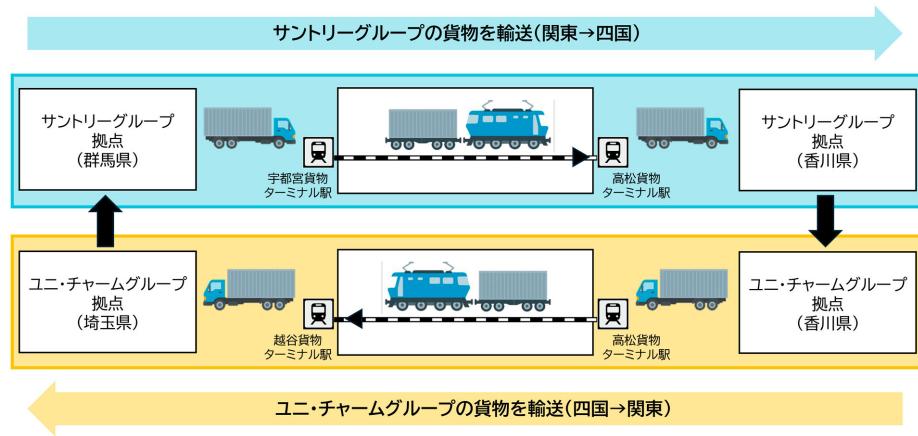


この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーグループ（以下、サントリー）は、ユニ・チャームグループ（以下、ユニ・チャーム）と共同で、関東・四国間の鉄道コンテナによる長距離往復輸送を11月から本格稼働します。

今回、両グループが連携し、関東から四国へはサントリーの酒類・清涼飲料製品を、四国から関東へはユニ・チャームの衛生用品などを輸送します。これまでのトラック輸送*から鉄道コンテナ輸送に切り替えることで、年間では両グループで運行するトラックを約200台減らせるほか、CO₂の排出量を約180トン削減できる見込みです。

※サントリーとユニ・チャームは、同区間でトラックによるリレー形式のラウンド輸送を行っており、2024年12月に経済産業省および国土交通省が実施する「令和6年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」において、「グリーン物流パートナーシップ会議 特別賞」を受賞しています（ニュースリリースNo.14730参照）



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

トラックドライバーの時間外労働の上限が規制された物流2024年問題や輸送量のさらなる増加など、物流を取り巻く環境変化への対応は、近年ますます重要な課題となっています。サントリーグループはこれまでも安全・安心で持続可能な物流の実現に向けて、「スマートロジスティクス」の取り組みを進め、先端技術の活用や各企業・自治体との連携を推進してきました。今後も物流企業やドライバーにとってより働きやすい環境をつくるとともに、自然環境に配慮した物流を推進することで、持続可能な物流の実現を目指します。

以上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
 さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
 社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
 「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。